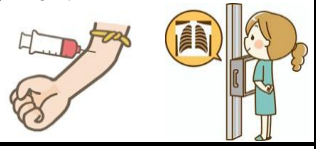
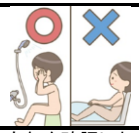
クリニカルパスウェイ
腹腔鏡下胆嚢摘出術手術を受ける患者さんへ

2017年4月作成
2025年12月改訂

患者番号　@PATIENTID　　患者氏名　@PATIENTNAME

東京慈恵会医科大学西部医療センター

	入院前	入院日(手術前日)	手術当日	術後1日目	手術2日目	退院日
日時	月　日	月　日	月　日　時頃	月　日	月　日	月　日
目標	手術について理解が出来、手術が安全に行えるように術前準備ができる	麻酔・手術に対し不安が最小限となる	手術が安全に受けられる	痛みのコントロールを行い早期離床を行う	合併症に気を付けながら活動を広げていく	退院後の生活の注意点が理解できる
食事	□特に制限はありません。 ＊制限が必要な場合もあります。 	□経口補水又は水を 20時～6時まで飲水行います。 □21時以降は絶食となります。 ＊うがい、歯磨きはできます。	□朝6時から絶飲食 ＊うがい、歯磨きはできます。 □午後手術の方は看護師へ確認してください。 	□診察後、水分から開始します。食事はレントゲンを見て昼から開始します。 ＊うがい歯磨きはできます。 □昼～全粥	□常食 	□常食
活動		□制限なし	□血栓予防のための弾性ストッキングを装着していただきます。 □手術室へは歩いて、または車椅子で移動します。 □術後はベッドの上で過ごします。 ＊寝返りは可能です。 	□活動に制限はありません。 □初回歩行時は必ずナースコールを押してください。	□制限なし	□制限なし
検査・処置	□手術に必要な検査を行います。 (採血、レントゲン、心電図、内視鏡、超音波、CTなど) 	□身長/体重を測定します。 □検温(体温、血圧、脈拍)を毎日測定します。 □必要時、検査の追加や他科の診察があります。	□体温・血圧・脈拍を測定します。 【手術後】 □酸素吸入を行います。 □尿を出す管や、浸出液を体外に出す管が挿入されてきます。 ＊引っ張らないよう注意しましょう。	□診察があります。 □体温、血圧、脈拍を測定します。 □採血とレントゲンがあります。 □医師の指示で酸素を止めます。 □尿の管を抜きます。(術式によっては1日目で抜けない場合があります。)尿の管を抜いた後最初の尿量を確認します。方法は看護師が説明します。	□診察があります。 □体温、血圧、脈拍を測定します。 	□診察があります。 □体温、血圧、脈拍を測定します。
薬		□常用薬を確認しますので看護師にお見せください。 ＊担当医から指示された薬のみ内服します。 □希望時睡眠剤が服用できます。 看護師にお知らせください。	□随時痛み止めを使用しますのでお知らせください。 □背中に持続的に痛みをコントロールする為の細い管が入ってくる場合があります。 □栄養・水分管理は点滴で行います。 	□随時痛み止めを使用しますのでお知らせください。 □水分開始後、内服薬も再開していきます。 □栄養、水分管理は点滴を使用していきます。	□必要時、傷の痛み止めの内服薬を処方します。 □休薬していた薬剤の開始日を検討します。 月　日より再開	□必要時退院処方
清潔	□髭剃りができる用意をお持ちください。 □手と足の爪は切ってください。マニキュアやネイルは必ず落としてください。	□シャワー浴 □手術の準備として入浴、爪きり、髭剃りを行ってください。 □看護師が、お臍をきれいにします。		□入浴はできません。看護師がお手伝いして清拭をします。	□シャワー浴可 	→ □次回の外来までは入浴せずシャワー浴にしてください。 □外来診察時に医師が入浴可能か判断します。
指導説明	□医師・看護師より手術についての説明があります。 ＊その時に手術承諾書、輸血同意書をお渡します。 □外来または、グリーンカウンターで入院のオリエンテーションがあります。 □全身麻酔で手術を行う方は呼吸器合併症予防のため、場合により呼吸器訓練を行います。 □手術の際に貴金属は全て外します。指輪など外れるか　ご確認ください。	□入院案内を行います。 □外来でお渡ししている同意書や説明書は入院の際にお持ちください。 □手術前から後までの流れや必要物品の説明を看護師より行います。 □麻酔科医師が診察し、全身麻酔についての説明があります。	□術後医師から説明があります。 ＊御家族は病棟のロビーで待機をお願いします。 席を外す場合は看護師へ声をかけてください。	□看護師付添いの元、安全に離床(歩行等)を進めます。傷の痛みがありますが、痛み止めを使用しながら座ったり、歩いたりします。 □術後肺炎を予防するため、うがいや、痰を出す事を積極的に行ってください。	□排ガス、排便の有無を確認します。 □傷の痛みとは異なる別の腹部症状があった場合はお知らせください。	□排便コントロール：適度な運動、水分を多くとる。 □食物繊維をとる。 □アルコール、お菓子、ジュース、果物の摂り過ぎは注意

《連絡先》　東京慈恵会医科大学西部医療センター　TEL：03－3480－1151